

育てよう大野っ子

～調査結果からみた
大野っ子のすがた～

今年4月に行われた、全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせします。調査の対象は、小学6年生と中学3年生です。公表にあたっては、本調査で測定できることは学力の一部であり、学校における教育活動の側面であることを踏まえながら、序列化や過度な競争につながらないように配慮しています。詳しい内容は、市のホームページで見ることができます。

1 教科に関する調査結果

これまでは、各教科で知識に関するA問題と、活用に関するB問題に分けて実施していました。新学習指導要領の知識や技能、思考力や判断力を総合的に育成するという考え方にに基づき、本年度から一体化した調査になりました。また、中学3年生を対象に、初めて英語の調査を実施しました。

大野市の平均正答率を全国、県と比較しました。小学校は、全国平均を大きく上回り、県平均と同等の結果となりました。中学校は、国語と数学は全国平均を大きく上回りましたが、英語は県平均を下回りました。

市内 小学校		国語	算数
	全国	◎	◎
県	○	○	

市内 中学校		国語	数学	英語
	全国	◎	◎	○
県	○	○	△	

◎…2ポイントより高い

○…±2ポイントの間

△…-2ポイントより低い

2 各教科の調査結果から

		良好であったこと	課題とその改善策
小学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、質問をすること ○話し手の思いや考えに着目して聞き、心に残ったことを書くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○報告文「公衆電話について調べたこと」を読んで、分かったことをまとめて書くこと →内容をまとめる表現に着目し、複数の情報を取り上げて、整理して書くことが大切です。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○示された四角形の特徴を捉え、台形を選ぶこと ○棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○示された計算の仕方を解釈して、ひき算の場合を基に、わり算に関して成り立つ性質を記述すること →説明したり、まとめたりするときに、算数の用語を意識して用いることが大切です。
中学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○短歌を読んで、感じたことや考えたことを書くこと ○書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○新聞記事「海外に広がる弁当の魅力」を読んで、情報を整理し、内容を捉えること →文章の内容や構造を理解したり、その文章の特徴を把握したりしながら、目的や必要に応じて情報を過不足なく選択し整理することが大切です。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単な連立二元一次方程式を解くこと ○連続する4つの奇数の和を表す式の意味を理解すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に照らし合わせて解釈すること →文章中の言葉とグラフ、式とグラフなどを関連付けて考えたり、数学の用語や記号を用いて表現したりすることが大切です。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ○短い英文を聞いて、情報を正確に聞き取ること ○簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書くこと →英文を読む際には、内容を理解するだけでなく、自分の意見や考えをもって学習をすることが大切です。

学校では、自校の結果の分析と学力向上のための取り組みをまとめた「学力向上プラン」に基づき、日々の授業改善などに取り組んでいます。なお、生活習慣や学習習慣に関する調査の結果は、来月号でお知らせします。

☎ 教育総務課 (☎64・4827)